



SSKP つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1998年10・11月
合併号(No.27)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 0427(96)8468

あそびにくる みなさんへのお願い

子どもがいっぱい

つくしんぼには大勢の子ども達が遊びに来てくれます。上は中学生から下は赤ちゃんまで。中学生の目当ては、バスケットゴールです。庭は石ころだらけなんですけど、大人用のバスケットゴールがあるので、結構遊べるのです。

小学生と幼稚園児の目当ては、大型ブランコと最近購入したプラスチック製の滑り台&ブランコつきのジャンゲルジムです。登ると二メートル以上の高さがあり、これまた結構楽しく遊べるのです。

室内にたくさんあるオモチャで遊びたがる子ども達もいます。ファミコンやパソコンで遊びたがる子どももいます。

嬉しい? 淋しい?

来てくれるのはとっても嬉しいのです。ただ……。

ハンディを持つつくしんぼの子ども達と遊ぶことを目当てとしてくれる子どもって、なかなかいないんですよ。

健康児達は、嵐のように大勢でやって来て、一緒に来た友達同志だけで遊んでいるのがいつもの光景です。そこには、障害



児の入れる隙間はありません。中には「危ないよ!」と

て、遊具からつくしんぼの子ども達を追い出す子さえいます。つくしんぼの子達が自転車遊びしてるのに、注意を払うこともせずにバスケットボールに夢中になって暴れる男の子もいます。

そういう時、私達はやるせない気持ちでいっぱいになってしまふのです。

気持ちは分かるけど

つくしんぼに遊びに来たいって気持ちは分かります。フェンス越しの通りからは遊具が並んで見え、まるで公園みたいですから。

でも、つくしんぼは公園じゃないんです。



公園で遊べない子ども達のために、親達が頑張って作った場所なんです。

そのことを分かってくれる子どもが……どうしてもいいんですよ。

それでもいいのかも

ただ、こんな状況でも、子ども達が遊びに来てくれることを喜ぶべきなのかな、とも思ったりします。

少なくとも「あんなとこなんか遊びに行くんじゃないよ!!」とか親に言われてない証拠ですから。つくしんぼの地域の子も達が障害児の存在を特別な目で見ていない証拠ですから。

たとえ残像でも、目の隅に映った障害児達の姿を脳裏に

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

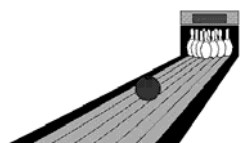
10月1日(木) 天気 雨

とみんの日、でこの日は学校がお休み。それでみんな午前中からボーリングに行きました。

みんな順番にゴロゴロ……。ボールのスピードが遅過ぎてタイムオーバーになった、途中でボールが止まってしまった。原の人、何度も呼んでスママセン。

ガーター防止のロープも、最初から溝を転がせばやっぱりガーター。うーむ、残念。「ピッチャー第一球投げました!!」なんて野球と間違えてる子もいましたっけ。

ちなみにハイスコアはM222の130。でも息子の方は喜びわけでもなく、まったくの知らんぷりなんだよなあ……。



焼きつけてくれたまま大人になつてくれれば……。こういうことって理屈じゃないと思うのです。



少しだけでも
でも、やっぱり、つくしんぼに来るからには少しはつくしんぼの子ども達と遊んで欲しいというのが本音です。だけど、それを遊びに来る子ども達に話すことは、私達にはなかなか難しいのです。

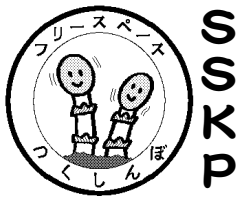
ささえる会へ入会・ご更新
ありがとうございます
志田様、和田様、松浦様、青木様、氏原様、松井様、林様、森様、松本様、神長様、船木様、みなみ風の会様、大石橋様、伊藤歯科医院様、小川様、嶋田様、山下様、南様、桶谷様、福田様、光幼稚園様、岡様、紺野様、池沢様、刈屋様

ご寄付・ボランティア
ありがとうございます
高尾様、箱崎様、坂井様、新卓様、五味様、高橋様、田中様、佐藤様、和知様、神長様、伊藤様、山下様、江端様、飯塚様、今井様、三田村様、みずの圭様、つくし野伝道所様、つくし野中フェスタでご寄付を下さった皆様、障害児教育フォーラム有志の皆様
(9~10月)

第6回 つくしんぼガレッジセール
のお知らせです

日にち 11月29日(日)
時間 午前10時~午後3時
場所 フリースペースつくしんぼ内

勝手に恒例とさせて貰っている『つくしんぼガレッジセール』をまたしても開催させて頂く運びとなりました。今年度からは「つくしんぼをささえる会」と「父母の会」が主催し、収益はささえる会の方へ入金、つくしんぼの運営と将来のために役立てさせて頂いております。皆様、ぜひぜひお越し下さいませ。なお、ガレッジセールへの品物等の献品を広くお願いしております。もしご家庭に不用品物がありましたら幸いです。取りに伺わせて頂きます。よろしくお願い申し上げます。



つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後5時までです!!



子どもの笑顔

✍️ 小山 量子

「フリースペースつくしんぼ」は、すごい。すばらしい。何がかと言うと、障害のある子が通う学童クラブを、創ってしまったことです。そして、つくつく通信を毎月発行していることです。内容はとても楽しく読みやすいです。

そして、つくしんぼに通っている親子・ボランティアの方々が明るいということです。いろいろなことを語り合い、助け合い、豊かな時間を共有できる仲間が存在がそこにあるからです。

人には言えない辛いこと苦しいことなどたくさんあることでしょう。でも、共に生きて行く仲間の輪をひろげていく、力強さとたくましさを、すばらしいと、

私は頭がさがる思いで感じています。

だから、微力ですが、つくしんぼの応援団の一人として、できることがあったらさせていただきたいと思っています。

私の学生時代は、オリンピックが終わったばかりで、高度経済成長時代が来る少し前でした。教師をめざしていた私は、子どもと関わることに魅力を感じ「こども会」というサークルに所属していました。簡単に言うと、大学生が子どもと一緒に遊ぶサークルなのです。夏休みには、地方の小学校に行き『緑陰こども会』を開き一週間ほどその土地の子どもたちといろいろな計画を立てて遊ぶのです。その間、自分たちは村の集会所などを貸していただいて自炊生活をしました。今振り返ると、本当に青春の一コマであり、生意気な若者を認め歓待してくれた村の人々の心の広さを今になってすごいことだったのだと感謝している次第です。

関係のない話が長くなってしまいました。実はこのサークル活動の中で、私は、障害をもった子と直接関わりをもつことができたのです。ボランティアなんて言うのも恥ずかしいような活動でしたが、いろいろな子どもたちと遊ぶことができました。日曜日になると、先輩の後

について養護施設にも出かけていきました。さまざまな障害の子がいましたが、言葉を話せる子も話せない子も、人の心を見通す不思議な力を持っていました。障害をもった子は、自分の心をうつす鑑とも言えました。自分は、どう子どもたちと接すればいいのか、と考えるより、「自然に、いっしょにいたい」と思えることが大切だと言えるようになるには、しばらく時間がかかりました。

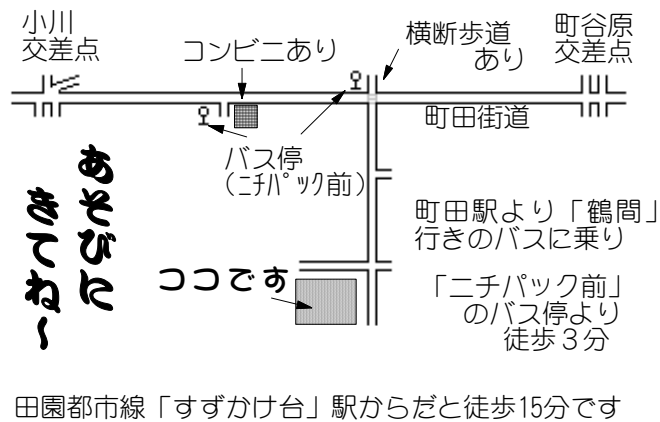
子どもたちから、いろいろなことを教えてもらいました。それからずっと、私の心の根っここの所で、その時の子どもたちの笑顔が、つながっているのだと思っています。

「フリースペースつくしんぼ」の活動は、全く新しい道を切り拓いています。誰も挑戦できなかった道に、敢然と挑み、気張らずに、でも、確実に一步一步進んでいく勇氣と実践力に、感服しています。まだ小さいけれど、未来につづく活動だと思います。



(小山先生は南つくし野小学校の校長先生です。原稿、どうもありがとうございました)

つくしんぼの地図



つくし野中フェスタ&町作連バザー

ご来場ありがとうございました。

10月24日・25日のそれぞれに行われたお祭りに足を運んで下さったみなさん、本当にありがとうございました。つくしんぼではバザーとフーズのポップコーンを販売させ

て頂き、合計で約5万円ほどの収入を得ることが出来ました。商売の下手なつくしんぼですが、コツコツといろいろなイベントに参加させて頂きますので、これからもよろしくお願い致します。

「つくしんぼをやる会」
ご入会 ご更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを一昨年五月に開所し、おかげさまで今年四月より補助金を頂ける団体として認めさせて頂けることになりました。しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいことは相変わらずです。そこで皆様にお願いがございまして、本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。よろしくお願ひ申し上げます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ

編集後記

ごっ、ごめんなさいっ!! 通信の発行がまたしても一回飛んでしまいました。この通信を作成するパソコンソフトを使える人間が私しかおらず、その私は生活費を稼ぐ仕事で完全にカンヅメ状態になっておりまして……。 (つくしんぼだけでは一家四人、暮らしていけないのです)

つくしんぼの補助金額は、普通の中堅サラリーマン一人分の年収程度のもので。そのお金で運営費と職員の給料をやりくりしている。本当はもっと欲しいのですが、減らされる可能性はあっても増えることはまずあり得ない。辛いところです。ずーっとお金の心配ばかり。……って、また愚痴になってしまった。m(_ _)m

発行所

東京都世田谷区砧6丁目26番11号
身体障害者団体定期6刊
協21会
定価50円